I2024-141

西暦 2026 年 1 月 16 日

慶應大学にて樹立された小細胞肺がん患者由来オルガノイド

試料を研究に利用することについてのお知らせ

東京科学大学では、下記の研究を実施しております。本研究に関するご質問等がありましたら下記の[当院の問い合わせ窓口]までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

[研究課題名]
肺癌の遺伝子発現解析の生物学的特性ならびに診断・治療におけるバイオマーカーの研究

[東京科学大学の研究責任者] 高等研究院 制がんストラテジー研究室 中山　敬一

[研究の背景]

小細胞肺がんと大細胞神経内分泌腫瘍は肺神経内分泌腫瘍に位置付けられる予後不良ながんです。しかしながら、これらのがん種では有効な治療法の開発が十分になされておらず、治療成績はあまり改善していません。そのため、小細胞肺がん患者由来オルガノイドを用いて新規治療法を発見することが重要な課題と考えられます。

[研究の目的]

本研究では、小細胞肺がん患者由来オルガノイドを用いて既存薬の薬効評価を行います。このように、小細胞肺がんに効果的な既存薬の同定を試みることで、今後の新たな治療法開発の発展に貢献します。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

小細胞肺癌、大細胞神経内分泌腫瘍の患者さんで、西暦 2011 年 1 月から西暦 2024 年 7 月の間に慶應義塾大学病院にて手術もしくは気管支鏡、経皮針生検、胸腔穿刺、心嚢穿刺、鼻腔擦過などにより検査を行った。

●研究期間：倫理委員会承認日から西暦 2028 年 3 月 31 日

●利用する試料、情報

西暦 2010 年 1 月 1 日から西暦 2020 年 3 月 31 日に登録された試料、検体を使わせていただきます。

●試料・情報の管理

解析後に残った検体は九州大学病院に返却いたします。また、本研究の目的以外に、本研究で得られた情報を利用しません。

●オプトアウト期間

本研究に参加するかどうかは、あなたの自由な意思で決めてください。このポスターを

ご覧になって自分の試料や情報を研究に使用してほしくない場合には、問い合わせ先に申し出て下さい。本研究に参加されない場合であっても、不利益を受けることは一切ありません。ただし、利用開始日は以下を予定しているため、利用開始予定日までにお申し出ください。利用開始日以降にお申し出いただいた場合、既に試料や情報が解析されている場合があり、得られた結果を削除するこができないことがありますので、ご了承ください。

利用開始予定日: 2026 年４月１日

[研究組織]

この研究は、多施設との共同研究で行われます。

●研究代表者（研究の全体の責任者）

東京科学大学 総合研究院 高等研究院 制がんストラテジー研究室 中山敬一

●その他の共同研究機関（研究責任者）

慶應義塾大学医学部呼吸器内科学 安田　浩之

[個人情報の取扱い]

研究に利用する情報・試料には個人情報が含まれますが、お名前、住所など、個人を直ちに判別できる情報は削除し、研究用の番号を付けます。また、研究用の番号と個人の名前を結び付ける対応表を作成し、研究参加への同意の取り消しなどの目的に使用します。対応表の管理は、慶應義塾大学の担当者が責任をもって適切に管理いたします。

情報は、当院の研究責任者及である東京科学大学高等研究院制がんストラテジー研究室の中山敬一が責任をもって適切に管理いたします。研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。

[問い合わせ窓口（東京科学大学）]

東京科学大学 総合研究院 高等研究院 制がんストラテジー研究室
研究代表者：中山敬一
担当者：小玉 学
〒113-8510 東京都文京区湯島１丁目５−４５
電話 03-5803-5169（ダイヤルイン）

【苦情窓口】東京科学大学 研究推進部 研究基盤推進課 生命倫理グループ
03-5803-4547（対応可能時間帯 平日 9:00-17:00